

動画形式の全国がん登録実務者研修会を実施して分かった 集合研修の有用性 ～『いつでも見れる』は学習機会の先送り～

新居田あおい※1、三宅宏和※2、白岡佳樹※1、寺本典弘※1
※1独立行政法人国立病院機構四国がんセンター
※2愛媛県 保健福祉部 健康衛生局 健康増進課



【はじめに】

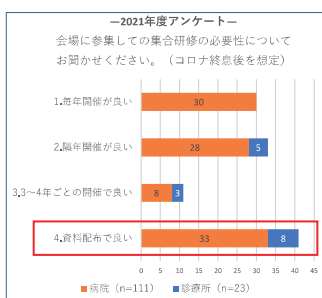
昨年全国がん登録届出票（届出票）作成時の手引きとなる資料を、愛媛県内の届出医療機関（病院135施設、指定診療所52施設）へ送付した。その際を利用し、全国がん登録実務者研修会（研修会）に関するアンケートを実施したところ、動画（資料配布も含む）での開催希望が多かったため、2022年度は10月7日から動画サイトへ研修動画を公開した。そこで、当県での研修会への取り組みを報告するとともに、今後の研修会の開催方法や課題について考察した。

【まとめ】

いつでも見れるはいつまでも見ない、明日やろうに明日は来ない

受講者の自主性だけでは動画視聴は期待できない。しかし、研修提供側も受講者の視聴を増やす見せ方の工夫が必要である。アンケートや視聴状況から、(i)動画内容が直感的に理解できる具体的なタイトル付け、(ii)動画掲載順の検討（実務に関するものから順に掲載）が必要である。研修動画は継続公開しつつ、届出項目の確認や意識付けには集合研修やオンラインLIVEの講義など、生/LIVEで研修を開催することも必要だと考える。LIVE研修への参加は、業務や日程の調整が難しいが、その時間その場所で確実に学習機会を確保できるメリットは看過できない。

【2022年度に実施した動画研修】



● 2021年度に、次年度以降の研修会開催に関するアンケートを実施したところ、資料配布での開催希望が多かった。2022年度は、10月7日から県が管理する動画サイトへ研修動画を公開した。

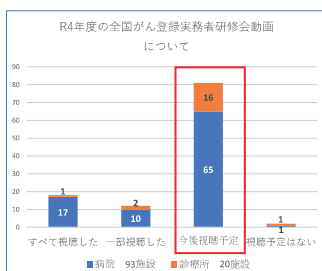
● 講義動画は、県と愛媛県がん登録室で分担して作成。
【県担当者】
・がん登録推進法や安全管理について
【全国がん登録室を管理する医師】
・がん登録概論・がん概論
【愛媛県がん登録室実務者】
・登録項目に関して
・演習3題(届出票作成、通り調査票作成)

● 各届出施設の全国がん登録担当者について同じページで照会し、回答できるようにした。照会票とあわせて、①研修形式に関するアンケートも実施。
→ 【①アンケート回答数】
病 院： 93/135施設 (68.9%)
指定診療所： 20/ 52施設 (38.5%)
全 施 設： 113/187施設 (60.4%)

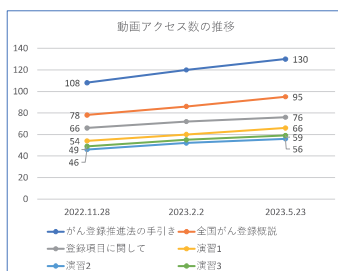
● 各動画の概要欄で②動画評価アンケートを実施。
→ 【②アンケート回答数】
がん登録推進法 11件
全国がん登録概説 8件
登録項目に関して 7件
演習1 7件
演習2 7件
演習3 8件
→ アンケートの場所がわかりにくく、ほぼ回答が得られなかった。



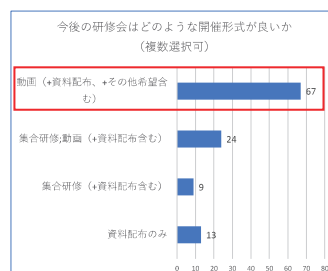
【2022年度 動画視聴状況・①研修形式アンケート結果】



● 11/28集計時、『今後視聴予定』が7割(80施設)を占める。
● 公開から1か月半では、視聴する時間を確保できない実務者が多いのかと思っていた。



● 『今後視聴予定』と回答した人が積極的に視聴しているとは言えない状況。
● アクセス数は動画掲載順に比例している。
→ 実務に関する講義を上位に掲載するなど構成の改善が必要。
● 演習動画は、視聴するか資料を開けないと内容がわからない。
→ 講義内容が伝わるタイトルの工夫が必要。



● 今後の開催について、動画を希望する回答者が多かった。
→ 経時的アクセス数から考えて、動画だけ用意しても視聴する実務者は僅かだろう。
● 受講者の自主性だけでは動画視聴は期待できないことが分かった。登録精度の維持、向上のためには、集合形式やオンライン講義で時間や会場を確保した研修も必要だ。